

民間検査機関だより

No. 26

平成7年1月17日発行

新潟県民間環境
検査機関協議会
(略称「民環協」)



ムカシトンボ (糸魚川市姫川源流にて)

ムカシトンボは、自然のよく残された山地溪流に生息するトンボの代表である。その形質は原始的で、日本列島に1種、遠くヒマラヤ地方に1種生息するのみである。幼虫の期間は7年と長いことから、安定した環境が維持されていくことが生息条件となる。

残雪のある5月の早朝、芽吹いたばかりのキハダの幼木に脱皮中の個体を発見したときは、溪流の音をかき消すほどの胸の高鳴りをおぼえ、しばし我を忘れた。それが私とムカシトンボとの最初の出合いであった。

写真・文： 梅林 正
(財) 上越環境科学センター

平成6年度 新潟県民間環境検査機関協議会(民環協)事業報告

- 平成6年6月14日 通常総会
平成5年度の事業及び収支決算報告
平成6年度の事業計画及び収支予算を決定
- 平成6年10月13日 第6回日環協関東支部環境セミナー東京大会
～14日 ミナー東京大会
- 理事会は随時
- その他
 - ◎県理化学検査技術職員研修会への参加
 - ◎環境公害関係技術者交流会への参加
 - ◎県生物検査技術職員研修会への参加
 - ◎平成6年度建築物環境衛生管理研修会への参加
 - ◎民環協組織活性化についての検討会実施
- 平成6年6月1日 環境月間記念行事「環境フェア」
～30日 「環境月間記念シンポジウム」(主催：県、新潟市他協賛：当協議会他)

会員が行っている主な業務

環境関連調査

- 海域海洋に関する事業
- 各種建設に係る調査
- 河川、ダム関連調査
- 工場排水に関する調査
- 飲料水に関する調査
- 騒音、振動調査
- 悪臭調査
- 地盤沈下に係る調査
- 廃棄物に関連する調査
- 大気関連調査
- 土壌汚染調査

環境影響評価(環境アセスメント)調査

- 公有水面埋立
- 発電所(各種)
- 各種工場及び公共施設
- 焼却場
- し尿処理施設
- 港湾
- 飛行場
- 公共下水道等
各種の立地建設に係る調査
- リゾート開発
(スキー場・ゴルフ場)

小説の楽しみ方

新潟県環境保健部医務薬事課長 齊木孝雄

当課に勤務して早くも8か月余りが過ぎました。当初はなんとなく気ぜわしい毎日が続いていましたが、このところ幾分ゆとりが出てきたのか、時々本棚から昔の本を取り出して再読しています。最近では30年前に通読して気になっていたドストエフスキーの「罪と罰」をほこりを払って今度は熟読しました。社会の矛盾へのやり場のない憤りから高利貸しの老婆を殺した貧しい学生ラスコーリニコフの精神の苦悩を描いた小説です。舞台は19世紀のロシアのペテルブルグであり、20数年前に現地を訪れ、小説に出てくるネフスキー通りを歩き夕暮れのネヴェア川の流れを見ながら作者の世界に浸ったことが鮮やかに呼び起こされました。小説を読むと誰もが舞台となった土地へ行ってみたい気になることでしょう。

好きな言葉の一つに“待て、而して希望せよ”があります。これも遙か以前に読んだデュマの「モンテ・クリスト伯」中のエドモン・ダンテスの言葉ですが、なぜか忘れ難く残っています。有名なこの小説は、密告により無実の罪をきせられた青年ダンテスが14年間地下牢に幽閉され、隣りの牢獄のフェリア司祭の死体と入れかわり九死に一生をえて脱出に成功、罪に陥れた卑劣な相手に綿密な計画のもとに復讐を遂げるといふ物語です。面白さに引き込まれ一気に読み終えたことを憶えています。中でも牢獄の描写が印象深く残っていたところ、数年前にたまたまヨーロッパ旅行の途次に地中海沿岸のマルセイユに立寄る機会に恵まれ、港の沖合に浮ぶ小島にある牢獄シャトーディフを望むことができました。特に外国の小説の場合にその舞台をまのあたりにすると何とも不思議な心躍る気分になるものです。その時の旅行ではロンドンにも滞在しましたが、ロンドンといえばシャーロック・ホームズの世界。残念ながらホームズの住居であるベーカー街221Bは次の機会に譲ったものの、中心部のシティやテムズ川

沿いを歩き当時の雰囲気味わうことができました。その点外国では古い街並が保存されているので有難いことです。帰国してから「シャーロック・ホームズの冒険」を読み返しかの地を思い浮かべながら悦に入ったものです。“小説を読んでから見るか、見ながら読むか”どちらでもいいけれどとにかく「読む」と「見る」が合わさると楽しみが倍加されること請け合いです。土地の空気、太陽の光、土の臭い、街の喧噪がかもし出す独特の雰囲気といったものは小説の主人公達と一体のものであり写真やテレビでは決して実感できないものです。

ところで、最近は次々と出版される新刊書より若い頃に読んだ本にひかれる気持が強くなっています。多分、若い心を取り戻したいためか、過ぎし年月の重みを確かめたいためではないかと思っています。あるいは単に日々の仕事や雑事からの一次的退避のためかもしれません。いずれにしろ小説の世界に浸るのは実に楽しいものです。それも時間を気にせずに、じっくり味わいながら、はたまた小説の舞台を訪ねることができれば申し分ありません。

それは将来の楽しみとしてとりあえず今日の仕事に取りかかりましょう。



最大の敵、肩こり

ミヤマ(株)燕工場ミヤマ分析センター 坂田 直 巳

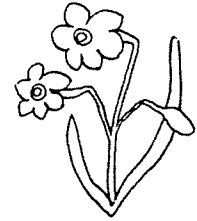
みなさんは、肩こり、腰痛などで悩んだことがあるでしょうか。私は、23才という若さにして、年中肩こりで悩んでいます。肩だけでなく、首筋から背中全体のこりと痛みで悩んでいます。肩こりや腰痛持ちの方はお分かりいただけると思いますが、この痛みは本当に切なくて、苦しく感じることもある位なのです。

今から4年位前、右目の視力が極端に悪い私は、半信半疑で視力回復センターに通っていました。その先生に、右足の方が短いことが原因ではないかと指摘され、整体に通うことを進められていたのですが、整体療法というものを信じることができず、いつの間にかそんなことも忘れていました。

それから一年後です。急に背中じゅうが痛くなり、肩こりに悩まされるようになりました。様々な事を試してみたり、苦しくて我慢できない時は薬を用い痛さを紛らわせていました。でも、そういうことは一時的に痛みを和らげてくれるだけで、根本的な解決にはなりませんでした。

そして現在、相変わらず肩こりで悩んでいます。見るに見兼ねた両親が、ある整体療術院を紹介してくれました。今はそこで治療を受けています。やはり医者とは違う方法ではありますが、確かに少しずつ楽になっているような気がします。今の気持ちはただ一つ。「信ずる者は救われる」です。

今考えれば、体をきちんと動かして、普段から正しい姿勢を心掛けていればこんなことにならなかったかもしないと思うことがあります。適度な運動の重要性をひしひしと感じています。みなさんも私のようにならないように、健康的な毎日をお過ごし下さい。



バレーボールをテレビでみて

(社)新潟県環境衛生中央研究所 検査二課 神 田 一

最近テレビで、バレーボールのワールド・スーパー4という、世界のトップ3と日本チーム・計4チームがリーグ戦とトーナメント戦で戦う大会をみて

感じたことについて、書こうと思う。

自分自身、高校時代にバレーボール部に入っていて、今現在も地元の9人制バレーボールチームに所

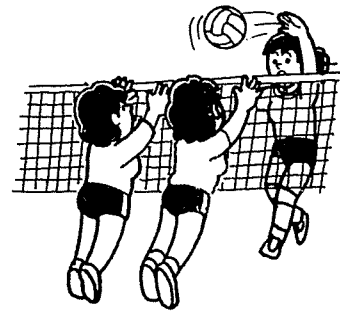
属しており、仕事が終わってから週2回、近くの中学校の体育館で練習している。テレビをみて、女子の試合もすごいと感じたが、男子の試合は高さとパワー、スピードがあり、オランダチームの選手6人の平均身長が何と2メートルというのには驚かされ、日本の選手と比べると大人と子供という、いいすぎかもしれないが、6人並ぶとまるで壁のように思えた。普通、身長が2メートルもあれば動きは鈍いと思ってしまうが、びっくりするような俊敏な動きには、「なぜ、あんな動きが出るのか」と感動しながら、自分も一歩でも近づけるように練習しなければ、と思うのはほんの最初ばかり！

ところで我が日本の成績というと、女子は一勝もできず、男子はアメリカに勝つことが出来たが、どちらとも世界のトップ3相手に大健闘し、日本もレベル的には、世界に十分通用する力を持っていると

確信できる試合内容であった。次回のオリンピックでは、ぜひメダルを取ってもらいたいと強く思う。

最初でも述べたが、バレーボールが好きで今現在も続けているが、仕事終わり、練習で汗を流すことはとても気持ち良くストレス解消にもなるので、これを読んでいるみなさんも何かスポーツをやってみてはいかがでしょう。バレーボールをやっている一番良かったことは、年に何回か試合があり、他のチームのいろんな人と知り合いになれることである。そして、試合が終わってからその内容について、勝利の喜びと負けた時の悔しさなどを慰労会で「ワイワイ」やっている時には「バレーボールをやった良かった」と、思うことの一つでもある。

これからも体力の続く限り、ずっと続けていくつもりです。



く る ま

(社)県央研究所 川 崎 貢 徳

私の自宅から職場までの約40kmの距離。この決して短くはない道のりを、私は車で通っている。今回は私の毎日の足となってきている、かわいい愛車のことについて書こうと思います。

私は、今年の4月に就職したのですが、それまでは運転免許といえば、原付しか持っていませんでした。しかし社会人になるにあたり、自動車の運転免

許は無くしてはならないものです。そこで、就職とほぼ時を同じくして、自動車の免許を取りました。免許を取れば当然車が欲しくなります。そして、車を探していたところ、幸運にも車を譲って下さる方がいるとの話がありました。そこで、とりあえずその車を見せてもらうことにしました。車は63年式のシビック、色は私の一番好きな色である赤でした。私

はホンダ車が好きではなかったのですが、色が赤だったことと、破格の値段にひかれ、その車を自分の相棒にすることに決めました。

そして、私の元に車がきてからというもの、休日には洗車やドライブばかりしています。ある時などは、友人を連れてちょっとドライブにでも、と出かけたところ、いつのまにか福島県までいっており、せっかくだから喜多方ラーメンでも食べて帰ろうか……などということもありました。

普段、通勤で毎日80km走っており、休日もその調子ですから、当然のことながら走行距離は、かなりものになります。私のところに来た頃には、8万km手前でしたが、ついに10万kmの大台に乗りました。

これだけ走らせていると、車にも疲れが見え始めています。そこで、次の車に買い換えることも少しは考えましたが、毎日の通勤の足になってくれたり色々なところに連れて行ってくれた、愛着のあるこの車をまだ手放す気にはなれません。悪くなったところは全部直してあげて、無理のない運転を心掛けていけば、きっとそれに応えてくれ、まだまだ元気に走ってくれることでしょう。

車に限らず、どんな機械も心が通い合うと愛着もわいてくるし、良い働きをしてくれるものではないでしょうか。

今日も、私は相棒と一緒に見知らぬ町へ繰出します。

水 二 題

(財)新潟県保健衛生センター 小田辺 満 雄

暖冬という長期予報を尻目に、新潟の町も白一色の師走を迎えることになりました。ホワイトクリスマスに子供たちは家庭で楽しい夢を親に語りかけていることでしょう。私などは、日常の仕事に追われてつい昔の人がよく言った「沈思黙考」の時間を失いがちですが、それでも年の暮れともなれば過ぎし一年を振り返ってみる気にもなります。

私の親戚でもクーラーを買ったとか、扇風機が売切れて店頭になかったとか……そんな話が日常のこととなった今年の日本観測史上例をみない猛暑の連続、関西、四国、九州におけるそのための深刻な水不足が報じられたことがつい昨日のように思いだされます。

ある人に聞いた話ですが、仏教のお教の中に、水や氷をじっと見てきらめく極楽の大地を構想する「水想観」というものがあるそうです。給水車からほと

ばしる水の色、何か月ぶりの断水の解除で水道の蛇口から流れ出る水の輝き、それは水不足に悩んだ人にとって、どんなにか美しく見えたことか違いないと私は思うのです。そして、昔から人類は水というものを如何に有りがたいものと考えていたかしみじみと知ったように思いました。

もう一つ、中国水泳選手の驚異的な強さの裏に、ドーピングという不祥事が化学の力で立証されたという事件です。解説によれば、耳かき一杯のわずかな薬物がプールに混入しても現代の化学はそれを分析出来る力があるということでした。日頃、水の検査を業務としている私にとって、この事件は印象深く残っています。

自然と人知の力を痛感しながら、今年の残り少ない日々を過ごしております。

「技師のひとりごと」

便利も使い様

(株)クラレ中条工場 栗山佳則

ガスクロや液クロ用に自動データ処理装置なるものが世に出て随分経ちました。価格も安くなり、性能も向上し、キーボードで試料名を入力したりICカード等でデータを保存したり、報告書まで作成してくれる機種まで登場し、使いやすく便利になりました。

以前は、レコーダーでチャート紙に記録させ、鉛筆と定規と計算機でピーク面積を出しやれテーリングだ・分割ピークだと定量するのも四苦八苦したものです。未知物質の定性ともなれば、カラムを2、3本準備して温度条件を変えたり、あれやこれやと手当たりしだいに打ち込んだりとそれはもう大変でした。(ちょっとオーバーかな?)

定量分析なら今では、標準液と試料を打ち込んだだけで、ピーク面積やピーク高さが打ち出され、濃度まで計算されて数字として出てしまいます。ルーチンワークならこの数字を報告書に書き写しあるいは打ち出された報告書に請求書をつけて作業は終了となります。この時、異常値であったとしてもクロマトグラムを確認しなければ、「今回は高(低)かったんだね」で、そのままの数字が出てしまいます。リテンションタイムが一致しただけで結果が打ち出されてしまい、分離が不十分なピークとかキャリアーガス圧の変動等ガスクロの異常でリテンションタイムがずれたりした場合や試料の異常(依頼者から知らされない場合)でもおかまいなしに数値として

出てしまいます。

クロマトグラフを見てから結果を判断すると言う基本、さらにはカラムの劣化や装置の異常も教えてくれる宝の山も、きれいな数字の報告書になってしまふとつい忘れがちになってしまうようです。コンピュータにたよりきって起きる失敗例のひとつです。

また、コンピュータの飛躍的進歩によって安価になった分析機器の中に、水質の残留農薬分析に必需品となったGC-MSがあります。大きな磁石と印画紙という時代も過去のものとなり、事務机ひとつ位のコンパクトな物も出てパソコン感覚の操作で定性定量に威力を発揮しています。ガスクロだけでもガス流量がバルブから数字のキー入力になったり、昇温もプログラム化されこれまたキー入力、MSのデータ処理ともなれば「この処理はこのキーだけかな?」とキーボード恐怖症などと嫌がってはられない時代になってしまいました。覚えてしまえば便利な装置と関心するところですが、あれやこれやとやっているうちに「何しようとしてたんだっけ?」と頭の中が竜巻状態に陥りついには、はじめからやり直しとなってしまいかねません。

自動化された分析機器に「おんぶにだっこ」では、どこに落とし穴が待ち受けているかわかりません。それぞれの機器の長所短所を見極め、たまには昔のことを思い出しながら使いこなして、より正確なデータを提供していきたいと思います。



施設紹介

(財)新潟県環境衛生研究所

財団法人 新潟県環境衛生研究所

弊財団は未だ公害という概念が社会的に定着していなかった昭和43年に、公衆衛生の向上と社会環境の充実に寄与したいという理念から、公益法人検査機関として設立されました。爾来、昭和48年、新潟市西小針台に新潟支所を、平成3年、佐渡郡真野町に佐渡営業所を設置し、広く県内全域に渡りまして、人の生活環境に係るあらゆる事象について調査研究を実施しております。

業務内容については、衛生公害の検査に加え、環境調査の業務が拡大傾向にあります。近年の環境影響調査は、基本的には生態系単位で評価することが要求されており、高度な技術と幅広い見識が必要になっております。これらの要求に応えるべく技術力の向上と技術分野の拡充に努めております。また、予測評価の結果派生する保全対策に対しては、地域特性を生かした実効のある対策を提言しております。突発的に発生する環境問題の原因究明から基礎的な調査実験までの幅広いニーズにお応えしております。

これからも、“KANKEN”の新しいコンセプトとして

「 “Fine to Next” 」

美しい自然を次代に

の言葉を掲げ、業務に邁進して参りたいと念じております。



国家資格等資格別職員数

(単位 人)

資格等の種類	取得者数	資格等の種類	取得者数
薬 剤 師	5	臨 床 検 査 技 師	5
衛 生 検 査 技 師	8	環 境 計 量 士	7
作 業 環 境 測 定 士	12	放 射 線 取 扱 主 任 者	4
公 害 防 止 管 理 者 (大 気 関 係)	3	公 害 防 止 管 理 者 (水 質 関 係)	18
公 害 防 止 管 理 者 (騒 音 関 係)	5	公 害 防 止 管 理 者 (振 動 関 係)	2
測 量 士	1	下 水 道 技 術 管 理 者	2
建 築 物 衛 生 管 理 技 術 者	1	水 道 法 第 34 条 検 査 員	18
浄 化 槽 法 検 査 員	24	労 働 衛 生 コ ン サ ル タ ン ト	1
.....		全 職 員 数	98

業 務

- ・環境アセスメント・環境調査
- ・水質・底質・食品等の理化学試験及び細菌試験
- ・微生物試験
- ・大気質・作業環境・騒音・振動・悪臭等の測定調査
- ・浄化槽・貯水槽の法定検査

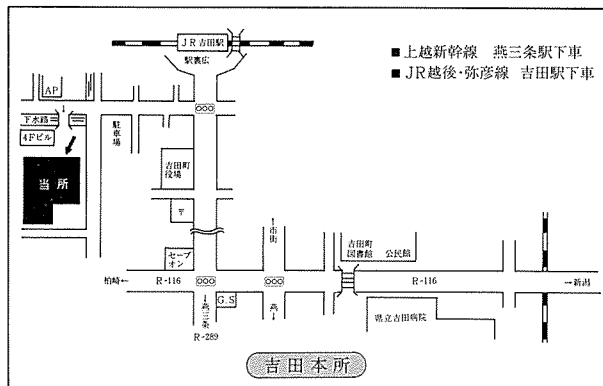
所在地

本 所

〒959-02 新潟県西蒲原郡吉田町東栄町 8 番13号

TEL 0256(93)4509(代表)

FAX 0256(92)6899

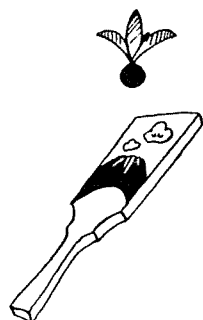
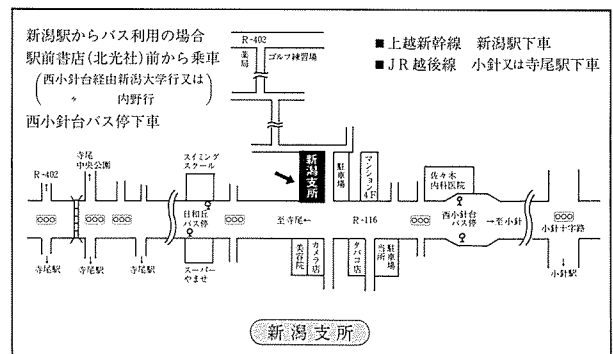


支 所

〒950-21 新潟市西小針台 2 丁目 5 番 1 号

TEL 025(267)1771(代表)

FAX 025(233)0098



加工食品の日付表示改正予定の概要

環境衛生課食品衛生係

◎日付表示に関わる食品衛生調査会部会報告まとまる

日付表示制度改正の基本的な考え方

1 「部会報告」の概要から

(期限表示の導入)

食品の日付表示については、製造・加工技術の進歩等を考慮したうえで、現行の表示基準に規定されている製造・加工年月日及び輸入年月日の表示に代えて、『期限表示』を導入することが適当であるとしています。なお、現行で省略できる食品については従来どおり期限表示も省略できるとされています。

(期限表示の役割)

食品の製造後、食品衛生上の問題が生じない期間や品質が保たれる期間が終わる時期を目安として示して、腐敗・変敗やそれに伴う変化を起こした食品を食べた場合に生じる衛生上の危害の発生を防止することにあるといえます。

また、食品には製造後速やかに消費すべきものから数年にわたって保存が可能なものまで多種多様であるように劣化速度に大きな差があります。このため、期限表示で示す時期を経過した場合、劣化速度が早い食品とそれ以外の食品とでは衛生上の危害の発生に差があるため、使い分けことが食品衛生面からも適当であるとするものです。

(期限表示のあらし)

食品の劣化速度により衛生上の危害が発生する可能性に差があり、これらを明らかにするため、特性に応じて『消費期限』と『品質保持期限』の2種類の期限表示を使い分けことが適当であるとしています。

- ① 劣化速度の速い食品には『消費期限』を表示
 - * 使用期限を過ぎた後は飲食に供することを避けるべきとされています。

定義：定められた方法により保存した場合において、腐敗、変敗その他の食品の劣化に伴う衛生上の危害が発生する恐れのないと認められる期限を示す日付。
 対象食品 食肉、生かき、弁当、そうざい、生菓子、生めん類、調理パン等

- ② 劣化速度が比較的緩慢な食品には『品質保持期限』を表示
 - * 品質保持期限が3ヶ月を超える場合には「日」まで表示する意義は乏しいので、「年月」のみの表示で差し支えなく、また、長期的に保存しても衛生上の危害が発生する可能性の低い食品については、品質保持期限表示を省略しても差し支えないとされています。

定義：定められた方法により保存した場合において、食品の品質保持が可能であると認められる期限を示す日付。
 対象食品 マーガリン、清涼飲料水、食肉製品、即席めん類、冷凍食品、魚肉練り製品等

2 改正に向けた予定

- ① 食品衛生調査会の答申
 - ↓
 - ② 厚生省令改正 (平成6年12月を予定)
 - ↓
 - ③ 周知期間 (数か月)
 - ↓
 - ④ 施行 (平成7年4月予定)
 - ただし、2年間程度の経過措置を設定予定
 - ⑤ 完全実施 (平成9年4月予定)

※ 順調に作業が進めば、平成7年4月頃新制度が施行される見込みで、その後、2年程度の経過措置期間が設けられる予定とされています。

3 その他

・『品質保持期限』の代替語として『賞味期限』も認める方針とされています。

◎期限設定の考え方

製造業者等は、各々の食品特性を十分に踏まえ、製品のバラツキ等も見込んだ余裕をも考慮した上

で、合理的な根拠に基づき、期限設定すべきときとされています。

なお、食品の品質の保持に関する期限は、製造後の保存条件によって大きく変動する場合がありますので、表示された期限内において一定の品質を保持するために必要がある場合は、その保存条件も表示し、流通・販売業者等に注意を喚起すべきとしています。

※ 詳しい情報については県又は最寄りの保健所におたずね下さい。

平成6年版

新潟県の環境(現状と対策)について

新潟県環境保健部

「新潟県の環境(現状と対策)」は、平成5年度における県の環境全般にわたる現状と対策について取りまとめたものであり、公害の現状及び公害の防止に関して講じた施策に係る部分については、新潟県公害防止条例第8条の規定に基づく県議会への年次報告である。

1 環境行政の動向と施策の方向

平成5年度における当県の環境は、全般的にはほぼ良好な状態が保たれている。しかしながら、近年では、自動車騒音や生活排水による水質汚濁などの都市・生活型公害を始め、増大する廃棄物の適正処理や減量化・再資源化、さらには地球環境問題への対応などが新たな課題となっており、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会システムの在り方や行動様式を見直し、環境負荷の少ない社会を築くことが必要とされている。このため、国は、5年11月に環境政策の新たな枠組みとして、環境基本法を制定・施行したところである。

当県では、こうした環境問題の質的变化と対象領域の拡大に対応するため「新潟県環境プラン」

を5年3月に策定し、6年2月には全庁的な推進体制として「新潟県環境対策推進本部」を設置した。今後は、県民、事業者、行政の有機的な連携を強化し環境プランを踏まえた諸施策を計画的に推進することとしている。

2 重点課題への取組

5年度の重点課題への主な取組は次のとおりである。

- ① 環境プランの推進については、第1回新潟県環境対策推進本部会議(6年2月開催)において、公害の防止、廃棄物対策、地球環境保全など、環境プランの施策方針に関連する事業をまとめた「環境プラン推進計画」を決定し、プランに掲げた各種の施策を全庁的な連携強化のもと、体系的・計画的に推進することとした。
- ② 環境汚染等の未然防止対策については、3年4月に制定した「新潟県環境影響評価要綱」に基づく審査等を通じて、環境保全についての適切な配慮がなされるよう指導した。
- ③ 一般廃棄物対策については、処理施設の適正

管理及び計画的な施設整備を市町村等に指導した。また、ごみ減量化・再資源化を推進するため、5年3月に策定した「新潟県ごみ減量化指針」に基づき、シンポジウムの開催、啓発用パンフレット作成など県民に対する意識啓発事業を実施するとともに、「ごみ減量化推進協議会」において広域的な資源化ルートの確保対策等の検討を行った。

- ④ 産業廃棄物対策については、産業廃棄物の適正処理を徹底するため要綱等に基づき指導を行った。また、公共関与による産業廃棄物の広域処分場等の整備を目指し4年10月に「財団法人新潟県環境保全事業団」を設立したところであり、5年度には、三島郡出雲崎町に候補地を得て建設のための具体的な調査検討を進めている。
- ⑤ 生活排水対策については、下水道の整備や合併処理浄化槽等の普及促進を図るとともに、5年度には、新島崎川・郷本川・島崎川流域を生活排水対策重点地域に指定し、従来に引き続き「せせらぎ回復事業」により生活排水対策の充実を図った。また、鳥屋野濁流域については、「鳥屋野濁水質改善計画（第二期）」に基づき、総合的な水質改善対策を推進している。
- ⑥ 交通騒音対策としては、高速自動車道周辺や上越新幹線沿線地区における騒音調査を行うとともに、調査結果を踏まえて関係機関に対し、対策の推進を要望した。
- ⑦ 地盤沈下対策については、新潟、上越、長岡、南魚沼及び柏崎地域において水準測量の調査を継続して実施している。特に沈下の著しい南魚沼地区については、6年3月、国、県及び地元3町からなる南魚沼地区地下水管理協議会が、「南魚沼地区地下水管理計画」を策定し、関係機関は連携して対策を推進している。
- ⑧ ゴルフ場で使用されている農薬については、農薬流出の実態を把握するため水質及び大気に係る調査を実施するとともに、5年6月に「新潟県ゴルフ場における農薬適正使用指導要綱」を制定し、同要綱等に基づくゴルフ場事業者の

指導を行った。

- ⑨ 除草剤等による水質汚濁防止対策としては、クロルニトロフェン（CNP）についての国における安全性の再評価と原則不使用の決定を受け、CNP剤は使用しないことを決定した。また、6年度から環境中の残留実態を把握するための監視調査を実施することとした。

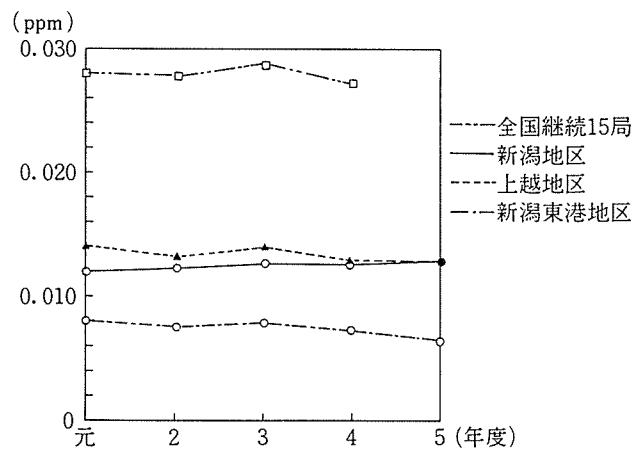
3 公害現状と対策

(1) 大気汚染

一般環境大気の状態は、二酸化硫黄については43測定局すべてで環境基準を達成、二酸化窒素については39測定局すべてで環境基準を達成、浮遊粒子状物質については32測定局すべてで長期的評価に基づく環境基準を達成する等おおむね良好な状況が維持された。(図-1) 光化学オキシダントは、31測定局すべてで環境基準を超える濃度が出現したものの、注意報を発令する状況には至らなかった。

道路沿道の大気の状態は、一酸化炭素が6測定局すべてで環境基準を達成、二酸化窒素が7測定局すべてで環境基準を達成、浮遊粒子状物質が6測定局をすべてで長期的評価に基づく環境基準を達成する等おおむね良好な状況が維持された。

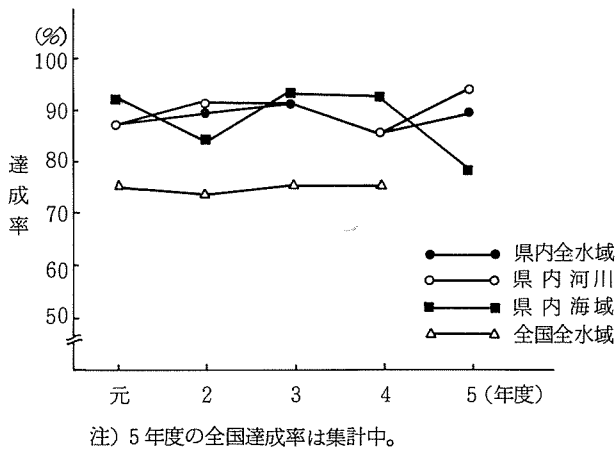
図-1 二酸化窒素の年平均値の経年変化



(2) 水質汚濁

公共用水域の水質の状況は、健康項目については、河川117、湖沼6、海域32の計155の測定地点のすべてで環境基準を達成した。生活環境項目については、河川82水域、湖沼2水域、海域14水域で常時監視を行っており、代表的指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）又はCOD（化学的酸素要求量）でみると、環境基準達成水域は、河川77、湖沼1及び海域11水域であり、前年度に比べて河川で6水域増加し、海域で2水域減少した。（図-2）

図-2 環境基準(BOD又はCOD)達成率の推移



水銀関連調査の結果、阿賀野川、関川水系及び直江津地先海域とも、引き続き全測定地点で総水銀等の環境基準を達成した。

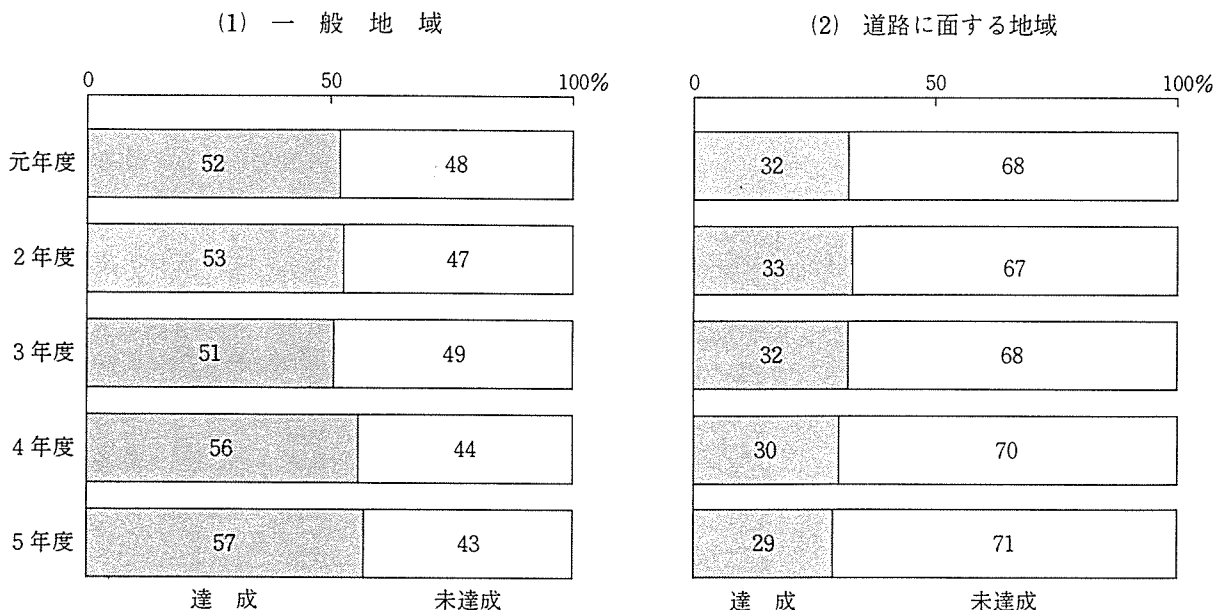
地下水の水質については、194地点を調査した結果、評価基準を超過した地点は35地点であり、このうちトリクロロエチレン等の有機塩素系溶剤によるものが21地点であった。汚染が確認された地点については新たな汚染の防止や浄化対策の指導等を行うとともに、継続的な監視を実施することとしている。

(3) 騒音・振動

環境騒音については、環境基準類型指定地域内の294地点における環境基準の達成率は、一般地域で57%、道路に面する地域で29%であり、ほぼ横ばいで推移していた。（図-3）

高速自動車道周辺の騒音については、170地点の測定結果によれば、朝、昼間、夕及び夜間の4時間帯のすべてで環境基準を達成したのは30地点（18%）であり、達成率は依然として低い状況で推移していた。上越新幹線による騒音については、県が継続調査を実施している17地点のうち1地点で環境基準を達成したにとどまり、全面達成には相当の努力を要する状況であった。新潟空港周辺の航空機騒音については、

図-3 環境基準達成率の経年変化



継続調査している12地点のうち9地点で環境基準を達成した。

(4) 地盤沈下

5年度の地盤沈下の状況は、新潟地域では、年間最大沈下量が3.6cmであり、今なお、新潟東港から西港にかけての海岸部及び内陸部の一部で沈下傾向を示していた。消雪用地下水の揚水が主な地盤沈下の原因である上越、長岡及び柏崎の各地域では、年間最大沈下量がそれぞれ1.9cm、1.1cm及び0.8cmと小康状態にあったが、南魚沼地域では、年間最大沈下量が前年度の5.7cm(全国ワースト1位)を越える7.3cmであった。今後、主な原因である消雪用を中心とする地下水利用の適正化を一層推進することとしている。

(5) 悪臭

5年度の悪臭苦情件数は141件であり前年度に比べ29件少なかった。畜産農業に係るものが最も多く、悪臭苦情件数全体の約4割であった。畜産農業に係る悪臭については、従来から畜舎の適正管理、糞尿処理施設の設置又は糞尿の畑地への過剰投入の自粛を指導し、事業場の監視等を実施してきたが、今後ともこれらの施策を推進することとしている。

4 廃棄物処理の現状と対策

(1) 一般廃棄物

生活様式の多様化等により、ごみの排出量が年々増加し、質的にも変化している。また、処理施設も老朽化が進み、最終処分場の残余容量も減少していることから、施設の計画的整備とともに、ごみの減量化・再資源化が緊急の課題

表-1 ごみの総排出量・資源化量の推移

年度	総排出量 (t/年)	対前年度比 (%)	資源化量 (t/年)	資源化率 (%)
2	1,021,634	101.4	33,281	3.3
3	1,035,190	101.3	35,584	3.4
4	1,027,346	99.2	46,865	4.6

となっている。このため、4年度に策定した「新潟県ごみ減量化指針」に基づき、県民に対する意識啓発事業を実施するとともに、市町村に対し資源ごみの分別収集の徹底、再資源化施設の整備促進を図るよう指導している。

(2) 浄化槽

5年度末の浄化槽設置数は約27万基と、前年度に比べて3.9%増となっている。浄化槽の適正な維持管理を推進するため、浄化槽立入検査の実施、保守点検登録業者の指導等を行い、さらに、技術管理者や浄化槽設置者への講習会等を行った。

また、2年度から下水道終末処理場並の処理性能を有し、短期間に設置できる合併処理浄化槽の県費補助を行っているが、5年度は547基が設置されたところであり、今後とも一層の普及促進を図ることとしている。

(3) 産業廃棄物

産業活動により排出される産業廃棄物は「家畜糞尿」を除くと687万1千t(63年度調査)にのぼっているが、資源として再利用にまわされ、焼却や脱水等の中間処理により減量化された後、埋立処分される量は年間53万6千t(4年度処分実績)となっている。

近年、県内における産業廃棄物処理施設、特に最終処分場の建設は極めて困難な状況になっていることから、環境の保全と産業活動の持続的な発展が損なわれないよう県民としても積極的にこの施設の確保に努めることを緊急の課題として取り組んでいる。

産業廃棄物の適正処理を推進するため、産業廃棄物処理施設の設置に当たっては、指導要綱に基づく事前協議制度により、地域住民等の理解が得られるよう必要な指導を行った。また、県外産業廃棄物については、要綱に基づき事前に搬入・処分の計画を把握し、搬入・処分量の抑制に努めた。

5 自然環境の現状と保全対策

(1) 自然公園及び自然環境保全地域等の保護管理

国立公園、国定公園及び県立自然公園の公園地域では、公園の風致景観を維持し良好な自然環境を保つため、区域内で行われる各種行為については、一定の制限が加えられている。5年度は、これら行為に係る408件の許認可・届出等を受理し、自然環境保全についての指導を行った。また、前年度に引き続き上信越高原国立公園地内のいもり池周辺について「特定民有地等買い上げ事業」を実施し、規制が課せられている私有地2.43haを県が買い上げ、すぐれた自然を将来にわたって確実に保全することとした。

新潟県自然環境保全条例に基づく「自然環境保全地域」及び「緑地環境保全地域」については、保全事業として3地域で、規制標識の設置、巡視歩道の整備等を実施した。

また、尾瀬の保護と適正な利用を図るため、3県知事による「尾瀬保護サミット」の合意に基づき、尾瀬保護財団（仮称）の設立準備を進めた。

(2) 温泉の現状と施策

温泉の掘削許可申請は依然として高い水準を保っており、5年度は、17件（前年度は27件）を許可した。また、温泉資源の枯渇化が懸念されている集中地域での動力設置許可に当たっては、申請者に付近源泉に対する影響調査を実施させる等により慎重な対応を図っている。

(3) 鳥獣保護と狩猟

野生鳥獣の保護とその生息環境を保全するための鳥獣保護区については、5年度は6か所について更新等を行い、5年度末では合計80か所（119,454ha）となった。鳥獣保護対策調査としては、オオタカなどの生息生態状況調査、ガン・カモ・ハクチョウ類一斉調査等を行い、鳥獣保護施策立案のための基礎資料を得た。また、野生傷病鳥獣の救護、有害鳥獣の駆除及び狩猟資源の確保等に努めた。さらに、環境庁の委託

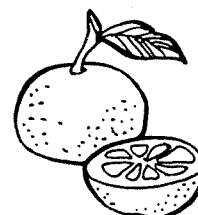
によるトキ保護増殖事業を実施するとともに、新しいトキ保護センターへの移転を完了した。

6 環境保全思想の普及啓発

地域環境保全基金の運用益を財源として、環境フェア、シンポジウム、親子自然ふれあい教室の実施等様々な普及啓発事業を実施した。また、環境月間行事、自然観察会、野鳥保護のつどい、環境美化運動、水生生物調査等一般県民の参加を得て行う事業の実施を通じて、県民の環境に関する意識啓発に努めた。さらに、「新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里」においても、野生鳥獣に対する保護思想の一層の推進を図るため、様々な普及啓発事業を実施した。

7 その他の環境保全対策

工場における公害防止組織の整備のため設けられている公害防止管理者等に対する指導、公害苦情の処理、公害紛争の処理、中小企業者に対する公害防止施設改善資金・産業廃棄物処理施設整備資金・登録廃棄物再生事業者施設整備資金の貸付け、衛生公害研究所における環境保全に関する各種調査研究等を行い、環境の保全に努めた。



新潟県民間環境検査機関協議会会員名簿

●正 会 員

(アイウエオ順)

機 関 名	住 所	電 話 番 号
(株)クラレ中条工場分析センター	〒959-26 北蒲原郡中条町倉敷町2-28	(0254)43-2521
(社)県 央 研 究 所	〒955 三上市吉田1411-甲	(0256)34-7072
コープエンジニアリング(株)新潟分析センター	〒950 新潟市榎町三番地	(025)273-8176
(財)上越環境科学センター	〒942 上越市大字下門前231番2	(0255)43-7664
電気化学工業(株)青海工場テンカ分析センター	〒949-03 西頸城郡青海町大字青海2209番地	(0255)62-6850
東北緑化環境保全(株)新潟支社	〒950 新潟市桃山町2丁目200	(025)274-1425
(財)新潟県環境衛生研究所	〒959-02 西蒲原郡吉田町東栄町8番13号	(0256)93-4509
(社)新潟県環境衛生中央研究所	〒940-21 長岡市新産2丁目12番7	(0258)46-7151
(財)新潟県環境分析センター	〒950-11 新潟市祖父典野53-1	(025)284-6500
(財)新潟県保健衛生センター	〒951 新潟市白山浦2丁目180-5	(025)267-8191
(社)新潟県薬剤師会	〒951 新潟市関屋田町1丁目39番地 加門不動産ビル2F	(025)267-2131
(財)二市北蒲原郡総合健康開発センター	〒957 新発田市本町4丁目16番83号	(0254)24-1145
日揮化学(株)新潟事業所環境測定センター	〒956 新潟市滝谷本町1-26	(0250)24-3811
(株)日軽分析センター新潟支所	〒950-31 新潟市太郎代1572-19	(025)255-3141
(財)日本気象協会新潟センター	〒950 新潟市幸西4-4-1	(025)243-4791
ミヤマ(株)燕工場ミヤマ分析センター	〒959-12 燕市大字小池3663-1	(0256)63-6751

新規会員

県都食品環境分析センター	〒950 新潟市幸栄1丁目7-12	(025)270-8890
--------------	-------------------	---------------

●賛助会員

(アイウエオ順)

機 関 名	住 所	電 話 番 号
アドバンテック東洋(株)新潟営業所	〒950-21 新潟市流通センター2-3-3	(025)260-7788
池田理化学工業(株)新潟支店	〒950 新潟市上所3-5-10	(025)285-9277
鐘通化学薬品(株)	〒950 新潟市関新1-7-22	(025)231-7121
(株)センテック新潟支店	〒950 新潟市鏡3-12-37	(025)243-1709
タケシヨ一科学	〒950 新潟市新光町23	(025)285-0671
寺井科学器械(株)	〒951 新潟市東中通1-186-1	(025)229-1198
(株)新潟コンゴ一	〒950 新潟市竹尾卸新町752-1	(025)275-8146
(株)ニチエ一	〒951 新潟市川岸町2-8-2	(025)230-1111
(株)広川製作所	〒951 新潟市寺裏通1番地240	(025)229-2616
北陸工機(株)	〒942 上越市中央3-14-34	(0255)43-2434
(株)マルタケ	〒950-21 新潟市流通センター4-6-2	(025)268-6340
和光純薬工業(株)	〒950 新潟市米山4-1-23	(025)241-0380

新規会員

関越化学株式会社新潟支店	〒950 新潟市高志1丁目3-14 アクシス1	(025)286-7191
--------------	-------------------------	---------------

編集ノート

新年明けましておめでとうございます。

'94年は、政治や環境等の分野で首相交替劇、水不足現象など予測の域を超えた出来事が起こりました。また、リレハンメル五輪、ワールドカップ、広島アジア大会と国際スポーツイベントに花も咲きました。日本のスポーツ界はジャンボ尾崎の(国内)ブッチギリの強さ、新横綱貴乃花難産での誕生。そして、長嶋ジャイアンツ、10.8演出効果バッチリのV決戦勝利、それに続くシリーズ制覇。Jリーグブームを打ち砕くかの如く、見事なコンピュータ野球を披露してくれました。

「セオリー重視だけではドラマは生まれない」との氏の言葉。セオリーを超越してはじめて素晴らしいドラマが展開される。将棋界では、羽生名人が七冠王を目指し谷川王将と対戦する。彼もまたセオリーを超越して今の地位を築いた。

今年も様々な分野で激動が予想されますが、新たな気持ちで素晴らしい一年を送れるよう頑張りましょう。

年末のお忙しい折、寄稿いただきました皆様大変ありがとうございました。(事務局)